

# 付 属 資 料

付属資料1 ファイル名一覧

1-1 水門設備、水管橋設備、鋼橋設備

ファイル名							図面名	備考
図面 番号	ライ フ サイ クル	整理 番号	図面 種類	改訂 履歴	ユー ザ 定義 領域	拡張 子		
001 ～ 999	S D C M	0～9 A～Z	LC	0～9 A～Z	自由 記入	P21	位置図	LoCation
			PL			P2Z	平面図	PLan
			GA				全体図	General Arrangement
			GV				一般図	General View
			SE				水密詳細図	SEal de tail
			RD				関係寸法図	Rel ation al Dimen si on
			SD				構造詳細図	Struc ture De tail
			MD				機械詳細図	Mechanical Detail
			ED				電気関連図	Electrical Detail

## 1-2 用排水ポンプ設備、除塵設備、鋼製付属設備、ダム管理設備

図面 番号	ライ フ サイ クル	ファイル名					図面名	備考		
		整理 番号	図面 種類	改訂 履歴	ユーザ 定義 領域	拡張 子				
001 ～ 999	S D C M	0～9	LC	0～9	自由 記入	P21	位置図	LoCation		
			A～Z	GV		A～Z	P2Z	一般図	General View	
			LA						割付図	LAYOUT
			PL						据付平面図	Plan
			CS						据付断面図	Cross Section
			GF						基礎図	General view of Foundati on
			FS						配管系統図	Flow Sheet
			FL						設備系統図	Facilities Location
			OD						単線結線図	Connection Diagram wiring
			PA						配管図	Piping Assembly Drawing
			CR						配線図	Cabl Root drawing
			MD						機械詳細図	Mechanical Detail
			ED						電気関連図	Electrical Detail
			PV						舗装詳細図	PaVement

## 付属資料2 レイヤ名一覧

本要領(案)の線色に依りがたい場合は受発注者間で協議の上変更することができる。

### 2-1 水門設備、水管橋設備、鋼橋設備

(1) 位置図、平面図、全体図、一般図、水密詳細図、関係寸法図、詳細図

レイヤ名			レイヤに含まれる内容	線色	線種	線の太さ
責任主体	図面オブジェクト	作図要素				
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線	指定
		-FRAM	タイトル枠	黄	実線	任意
		-LINE	区切り線、罫線	白	実線	任意
		-TXT	文字列	白	実線	任意
	-MCH	-STR1	土木、建築物、基礎の構造線 (新設部、更新部)	シアン	実線	太線
		-STR2	土木、建築物、基礎の構造線 (既設部)	暗灰	実線	細線
		-STRn	構造物 + 設備区分 (数字) (扉体、戸当り、開閉装置等) (n=3, 4, 5...)	任意	実線	任意
		-KIKn	電気制御設備 + 記号 (数字) (n=3, 4, 5...)	任意	実線	任意
		-PART	取付部品	任意	実線	任意
		-REIN	配筋、差し筋 (工事範囲外の場合)	マジエ ンタ	実線	任意
		-PH2	想像線	任意	二点鎖 線	細線
		-PHn	想像線 (n=3, 4, 5...)	任意	二点鎖線	任意
		-HIDn	隠れ線 (n=3, 4, 5...)	任意	破線	任意
		-CNT2	中心線	赤	一点鎖線	細線
		-CNTn	中心線 (n=3, 4, 5...)	赤	一点鎖線	任意
		-DIM2	寸法線、引出し線、寸法値	緑	実線	指定
		-DIMn	寸法線、引出し線、寸法値 (n=3, 4, 5...)	任意	任意	指定
		-BMK	基準線	赤	任意	任意
		-MKn	記号 (溶接記号、表面仕上げ記号等) +設備区分 (数字) (n=3, 4, 5...) 必要に応じて設備区分毎にレイヤを分ける。	シアン	実線	任意
		-TXT0	文字列	黄	実線	任意
		-TXT1	文字列	白	実線	任意
		-TXT2	文字列	緑	実線	任意
		-TABL	表	白	実線	任意
-FRM0	タイトル枠 (別様式、極太線)	青	実線	極太線		
-FRM1	タイトル枠 (別様式、太線)	白	実線	太線		
-FRM2	タイトル枠 (別様式、細線)	緑	実線	細線		
-FTX1	文字列	白	実線	任意		

レイヤ名			レイヤに含まれる内容	線色	線種	線の太さ
責任主体	図面オブジェクト	作図要素				
		-FTX2	文字列	赤	実線	任意
		-HC2	ハッチング	赤	実線	細線
		-HCn	ハッチング (n=3, 4, 5...)	赤	実線	任意
		-HTXn	旗上げ (風船) + 設備区分 (数字) (n=3, 4, 5...) 必要に応じて設備区分毎にレイヤを分ける。	シアン	実線	任意
		-HSTX	履歴用文字列	赤	実線	任意
		-HSLN	履歴用表	赤	実線	任意
		-YTX	施工範囲文字列	任意	任意	任意
		-YLN	施工範囲表	任意	任意	任意
		-RSTR	ラスタ化されたデータ	任意	任意	任意
		-ETQn	その他 (n=0, 1, 2...)	任意	任意	任意
		-ZZZ	既設 (施工前)	青紫	実線	任意
C	-ORD (注)		発注図に作図する要素、旗上げ等	任意	任意	任意

※ 表中の線色は「1-4-9 色」に定義する RGB を標準とする。

※ 土木図、電気関連図を利用する場合は、その図面のレイヤ構造を流用してもよい。

※ 寸法値は、寸法線及び引出し線と同色の緑としたが、図面の内容により寸法値を太線とする場合は、白色としてもよい。

レイヤ名 (作図要素) の数字は線の太さを表している。

レイヤ名	線の太さ
-***0	極太線
-***1	太線
-***2	細線
-***n	任意

注) 一部に上表に従わない場合もある。

(2) 電気関連図（機側操作盤外形図、単線結線図、配線・配管系統図、電路布設図、操作フローチャート）

レイヤ名			レイヤに含まれる内容	線色	線種	線の太さ
責任主体	図面オブジェクト	作図要素				
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線	指定
		-FRAM	タイトル枠	黄	実線	任意
		-LINE	区切り線、罫線	白	実線	任意
		-TXT	文字列	白	実線	任意
	-MCH	-STR1	土木、建築物、基礎の構造線（新設部、更新部）	シアン	実線	太線
		-STR2	土木、建築物、基礎の構造線（既設部）	暗灰	実線	細線
		-STRn	構造物 + 設備区分（数字） （扉体、戸当り、開閉装置等） (n=3, 4, 5...)	任意	実線	任意
		-PART	取付部品	任意	実線	任意
		-KIKn	盤 + 記号（数字）(n=3, 4, 5...) 必要に応じて設備区分毎にレイヤを分ける。	任意	実線	任意
		-SENn	回路・配線 + 記号（数字） (n=3, 4, 5...) 必要に応じて設備区分毎にレイヤを分ける。	任意	実線	任意
		-BORD	区分け線	シアン	一点鎖線	任意
		-PH2	想像線	任意	二点鎖線	細線
		-PHn	想像線 (n=3, 4, 5...)	任意	二点鎖線	任意
		-HIDn	隠れ線 (n=3, 4, 5...)	任意	破線	任意
		-CNT2	中心線	赤	一点鎖線	細線
		-CNTn	中心線 (n=3, 4, 5...)	赤	一点鎖線	任意
		-DIM2	寸法線、引出し線、寸法値	緑	実線	指定
		-DIMn	寸法線、引出し線、寸法値 (n=3, 4, 5...)	任意	任意	指定
		-BMK	基準線	赤	任意	任意
		-MKn	記号（溶接記号、表面仕上げ記号等） +設備区分（数字）(n=3, 4, 5...)	シアン	実線	任意
		-TXT0	文字列	黄	実線	任意
		-TXT1	文字列	白	実線	任意
		-TXT2	文字列	緑	実線	任意
		-TABL	表	白	実線	任意
		-FRM0	タイトル枠（別様式、極太線）	青	実線	極太線
		-FRM1	タイトル枠（別様式、太線）	白	実線	太線
		-FRM2	タイトル枠（別様式、細線）	緑	実線	細線
		-FTX1	文字列	白	実線	任意
	-FTX2	文字列	赤	実線	任意	

レイヤ名			線種	線色	線種	線の太さ
責任主体	図面オブジェクト	作図要素				
		-HC2	ハッチング	赤	実線	細線
		-HCn	ハッチング (n=3, 4, 5...)	赤	実線	任意
		-HSTX	履歴用文字列	赤	実線	任意
		-HSLN	履歴用表	赤	実線	任意
		-YTX	施工範囲文字列	任意	任意	任意
		-YLN	施工範囲表	任意	任意	任意
		-RSTR	ラスタ化されたデータ	任意	任意	任意
		-ETCn	その他 (n=0, 1, 2...)	任意	任意	任意
		-ZZZ	既設 (施工前)	青紫	実線	任意
C	-ORD (注)		発注図に作図する要素、旗上げ等	任意	任意	任意

※ 表中の線色は「1-4-9 色」に定義する RGB を標準とする。

※ 土木図、設備関係図を利用する場合は、その図面のレイヤ構造を流用してもよい。

※ 寸法値は、寸法線及び引出し線と同色の緑としたが、図面の内容により寸法値を太線とする場合は、白色としてもよい。

レイヤ名（作図要素）の数字は線の太さを表している。

レイヤ名	線の太さ
-**0	極太線
-**1	太線
-**2	細線
-**n	任意

注) 一部に上表に従わない場合もある。

## 2-2 用排水ポンプ設備、除塵設備、鋼製付属設備、ダム管理設備

(1) 一般図（位置図、全体配置図、据付平面図、据付断面図、基礎図、機器詳細図、電気関連図）

責任 主体	レイヤ名		レイヤに含まれる内容	線色	線種	線の太さ
	図面オブ ジェクト	作図要素				
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線	指定
		-FRAM	タイトル枠	黄	実線	任意
		-LINE	区切り線、罫線	白	実線	任意
		-TXT	文字列	白	実線	任意
	-MCH	-STR1	土木、建築物、基礎の構造線	シアン	実線	太線
		-STRn	土木、建築物、基礎の構造線 (n=3.4.5・・・)	任意	任意	任意
		-KIK1	主機、補機、盤（据付図等、太線で明示）	白	実線	太線
		-KIKn	主機、補機、盤 (n=3.4.5・・・)	任意	任意	任意
		-PH2	想像線	任意	二点鎖線	細線
		-PHn	想像線 (n=3.4.5・・・)	任意	二点鎖線	任意
		-BAR1	配筋	白	実線	太線
		-BARn	配筋 (n=3.4.5・・・)	任意	任意	任意
		-KISO	基礎、ピット、シンダー	マゼン タ	実線	極太線
		-SPT1	サポート、ダクト、点検歩廊（太線にて明示）	明灰	実線	太線
		-SPT2	サポート、ダクト、点検歩廊（細線にて明示）	緑	実線	細線
		-HIDn	隠れ線 (n=3.4.5・・・)	任意	破線	任意
		-CNT2	中心線	赤	一点鎖線	細線
		-CNTn	中心線 (n=3.4.5・・・)	任意	任意	任意
		-TXT0	文字列	黄	実線	任意
		-TXT1	文字列	白	実線	任意
		-TXT2	文字列	緑	実線	任意
		-DIM2	寸法線、引出し線、寸法値	緑	実線	指定
		-DIMn	寸法線、引出し線、寸法値 (n=3.4.5・・・)	任意	任意	指定
		-MARK	記号	白	実線	任意
	-LEV	レベル	白	実線	任意	
	-TABL	表	白	実線	任意	
	-FRM0	タイトル枠（別様式、極太線）	青	実線	極太線	
-FRM1	タイトル枠（別様式、太線）	白	実線	太線		



レイヤ名			レイヤに含まれる内容	線色	線種	線の太さ
責任主体	図面オブジェクト	作図要素				
		-FRM2	タイトル枠 (別様式、細線)	緑	実線	細線
		-FTX1	文字列	白	実線	任意
		-FTX2	文字列	赤	実線	任意
		-HCH2	ハッチング	赤	実線	細線
		-HCHh	ハッチング (n=3,4,5…)	任意	任意	任意
		-HSTX	履歴用文字列	赤	実線	任意
		-HSLN	履歴用表	赤	実線	任意
		-YTX	施工範囲文字列	任意	任意	任意
		-YLN	施工範囲表	任意	任意	任意
		-RSTR	ラスタ化されたデータ	任意	任意	任意
		-ETCh	その他 (n=0,1,2…)	任意	任意	任意
		-ZZZ	既設 (施工前)	青紫	実線	任意
C	-ORD (注)		発注図に作図する要素、旗上げ等	任意	任意	任意

- ※ 表中の線色は、「1-4-9 色」に定義する RGB を基準とする。
- ※ 土木図等を利用する場合は、その図面のレイヤ構造を流用してもよい。
- ※ 寸法値は、寸法線及び引出し線と同色の緑としたが、図面の内容により寸法値を太線とする場合は、白色としてもよい。

レイヤ名 (作図要素) の数字は線の太さを表している。

レイヤ名	線の太さ
-***0	極太線
-***1	太線
-***2	細線
-***n	任意

注) 一部に上表に従わない場合もある。

## (2) 系統図 (配管系統図、配線系統図、設備系統図、操作制御フロー図、計装フロー図等)

責任 主体	レイヤ名		レイヤに含まれる内容	線色	線種	線の 太さ
	図面オブ ジェクト	作図要素				
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線	指定
		-FRAM	タイトル枠	黄	実線	任意
		-LINE	区切り線、罫線	白	実線	任意
		-TXT	文字列	白	実線	任意
	-MCH	-KIK2	主機、補機、盤 (小配管図等、細線で明示)	緑	実線	細線
		-KIKn	主機、補機、盤 (n=3,4,5…)	任意	任意	任意
		-STR1	土木、建築物、基礎の構造線	シアン	実線	太線
		-STR2	土木、建築物、基礎の構造線	暗灰	実線	細線
		-SEN1	線 (主回路等、太線で明示)	白	実線	太線
		-SENn	線 (埋設配線等) (n=3,4,5…)	任意	任意	任意
		-WLN	水系統の配管及び機器	シアン	実線	任意
		-FLN	燃料系統の配管及び機器	マゼンタ	一点鎖線	任意
		-ALN	空気及び抽気系統の配管及び機器	白	破線	任意
		-OLN	潤滑油系統の配管及び機器	明灰	二点鎖線	任意
		-PART	取付部品	任意	実線	任意
		-CNT2	中心線	赤	一点鎖線	細線
		-CNTn	中心線 (n=3,4,5…)	任意	任意	任意
		-TXT0	文字列	黄	実線	任意
		-TXT1	文字列	白	実線	任意
		-TXT2	文字列	緑	実線	任意
		-DIM2	寸法線、引出し線、寸法値	緑	実線	指定
		-DIMn	寸法線、引出し線、寸法値 (n=3,4,5…)	任意	任意	指定
		-MARK	記号	白	実線	任意
		-LEVL	レベル	白	実線	任意
		-TABL	表	白	実線	任意
		-FRM0	タイトル枠 (別様式、極太線)	青	実線	極太線
		-FRM1	タイトル枠 (別様式、太線)	白	実線	太線
		-FRM2	タイトル枠 (別様式、細線)	緑	実線	細線
		-FTX1	文字列	白	実線	任意
		-FTX2	文字列	赤	実線	任意
		-HCH2	ハッチング	赤	実線	細線
		-HCHn	ハッチング (n=3,4,5…)	任意	任意	任意
	-HSTX	履歴用文字列	赤	実線	任意	
	-HSLN	履歴用表	赤	実線	任意	
-YTX	施工範囲文字列	任意	任意	任意		
-YLN	施工範囲表	任意	任意	任意		
-RSTR	ラスタ化されたデータ	任意	任意	任意		
-ETOn	その他 (n=0,1,2…)	任意	任意	任意		
-ZZZ	既設 (施工前)	青紫	実線	任意		
C	-ORD (注)		発注図に作図する要素、旗上げ等	任意	任意	任意

- ※ 表中の線色は、「1-4-9 色」に定義する RGB を基準とする。
- ※ 土木図等を利用する場合は、その図面のレイヤ構造を流用してもよい。
- ※ 寸法値は、寸法線及び引出し線と同色の緑としたが、図面の内容により寸法値を太線とする場合は、白色としてもよい。

レイヤ名（作図要素）の数字は線の太さを表している。

レイヤ名	線の太さ
—**0	極太線
—**1	太線
—**2	細線
—**η	任意

注) 一部に上表に従わない場合もある。

(3) 単線結線図

レイヤ名			レイヤに含まれる内容	線色	線種	線の太さ
責任主体	図面オブジェクト	作図要素				
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線	指定
		-FRAM	タイトル枠	黄	実線	任意
		-LINE	区切り線、罫線	白	実線	任意
		-TXT	文字列	白	実線	任意
	-MCH	-BORD	区分線	シアン	一点鎖線	任意
		-SEN1	線（主回路等、太線にて明示）	白	実線	太線
		-SEN2	線（補助回路等、細線にて明示）	緑	実線	細線
		-SENh	線（盤外結線等） (n=3, 4, 5...)	任意	任意	任意
		-TXT0	文字列	黄	実線	任意
		-TXT1	文字列	白	実線	任意
		-TXT2	文字列	緑	実線	任意
		-DIM2	寸法線、引出し線、寸法値	緑	実線	指定
		-DIMh	寸法線、引出し線、寸法値 (n=3, 4, 5...)	任意	任意	指定
		-MARK	記号	白	実線	任意
		-TABL	表	白	実線	任意
		-FRM0	タイトル枠（別様式、極太線）	青	実線	極太線
		-FRM1	タイトル枠（別様式、太線）	白	実線	太線
		-FRM2	タイトル枠（別様式、細線）	緑	実線	細線
		-FTX1	文字列	白	実線	任意
		-FTX2	文字列	赤	実線	任意
		-HCH2	ハッチング	赤	実線	細線
		-HCHh	ハッチング (n=3, 4, 5...)	任意	任意	任意
		-HSTX	履歴用文字列	赤	実線	任意
		-HSLN	履歴用表	赤	実線	任意
		-YTX	施工範囲文字列	任意	任意	任意
		-YLN	施工範囲表	任意	任意	任意
		-RSTR	ラスタ化されたデータ	任意	任意	任意
		-ETCh	その他 (n=0, 1, 2...)	任意	任意	任意
-ZZZ	既設（施工前）	青紫	実線	任意		
C	-ORD (注)		発注図に作図する要素、旗上げ等	任意	任意	任意

- ※ 表中の線色は、「1-4-9 色」に定義する RGB を基準とする。
- ※ 土木図等を利用する場合は、その図面のレイヤ構造を流用してもよい。
- ※ 寸法値は、寸法線及び引出し線と同色の緑としたが、図面の内容により寸法値を太線とする場合は、白色としてもよい。

レイヤ名（作図要素）の数字は線の太さを表している。

レイヤ名	線の太さ
—**0	極太線
—**1	太線
—**2	細線
—**η	任意

注) 一部に上表に従わない場合もある。

## (4) 配管図、配線図

責任主体	レイヤ名		レイヤに含まれる内容	線色*	線種	線の太さ
	図面オブジェクト	作図要素				
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線	指定
		-FRAM	タイトル枠	黄	実線	任意
		-LINE	区切り線、罫線	白	実線	任意
		-TXT	文字列	白	実線	任意
	-MCH	-KIK2	主機、補機、盤 (小配管図等、細線で明示)	緑	実線	細線
		-KIKn	主機、補機、盤 (n=3.4.5…)	任意	任意	任意
		-STR2	土木、建築物、基礎の構造線	暗灰	実線	細線
		-SEN1	線 (主回路等、太線で明示)	白	実線	太線
		-SEN2	線 (補助回路等、細線で明示)	緑	実線	細線
		-SENn	線 (埋設配線等) (n=3.4.5…)	任意	任意	任意
		-MLN	水系統の配管及び機器	シアン	実線	任意
		-FLN	燃料系統の配管及び機器	マゼンタ	一点鎖線	任意
		-ALN	空気及び抽気系統の配管及び機器	白	破線	任意
		-OLN	潤滑油系統の配管及び機器	明灰	二点鎖線	任意
		-HIDn	隠れ線 (n=3.4.5…)	任意	破線	任意
		-CNT2	中心線	赤	一点鎖線	細線
		-CNTn	中心線 (n=3.4.5…)	任意	任意	任意
		-TXT0	文字列	黄	実線	任意
		-TXT1	文字列	白	実線	任意
		-TXT2	文字列	緑	実線	任意
		-DIM2	寸法線、引出し線、寸法値	緑	実線	指定
		-DIMn	寸法線、引出し線、寸法値 (n=3.4.5…)	任意	任意	指定
		-MARK	記号	白	実線	任意
		-LEVL	レベル	白	実線	任意
		-TABL	表	白	実線	任意
		-FRM0	タイトル枠 (別様式、極太線)	青	実線	極太線
		-FRM1	タイトル枠 (別様式、太線)	白	実線	太線
		-FRM2	タイトル枠 (別様式、細線)	緑	実線	細線
		-FTX1	文字列	白	実線	任意
		-FTX2	文字列	赤	実線	任意
		-HCH2	ハッチング	赤	実線	細線
		-HCHn	ハッチング (n=3.4.5…)	任意	任意	任意
		-HSTX	履歴用文字列	赤	実線	任意
		-HSLN	履歴用表	赤	実線	任意
		-YTX	施工範囲文字列	任意	任意	任意
		-YLN	施工範囲表	任意	任意	任意
		-RSTR	ラスタ化されたデータ	任意	任意	任意
		-ETCn	その他 (n=0,1,2…)	任意	任意	任意
		-ZZZ	既設 (施工前)	青紫	実線	任意
		C	-ORD (注)		発注図に作図する要素、旗上げ等	任意

- ※ 表中の線色は、「1-4-9 色」に定義する RGB を基準とする。
- ※ 土木図等を利用する場合は、その図面のレイヤ構造を流用してもよい。
- ※ 寸法値は、寸法線及び引出し線と同色の緑としたが、図面の内容により寸法値を太線とする場合は、白色としてもよい。
- ※ 配管を 3 本線（中心線を含む）で表現する場合、系統名を指示して実線としてもよい。

レイヤ名（作図要素）の数字は線の太さを表している。

レイヤ名	線の太さ
—***0	極太線
—***1	太線
—***2	細線
—***η	任意

注) 一部に上表に従わない場合もある。

### 2-3 文書領域 (DOC について)

レイヤ			レイヤに含まれる内容	線色	線種
1	2	3			
S D C M	-DOC		文章 (説明、指示、参照事項等)	任意	任意

### 2-4 地形図等の測量成果データ (SUV について)

レイヤ			レイヤに含まれる内容	線色	線種
1	2	3			
S D C M	-SUV		地形図等の測量成果データ	任意	任意

(注) 図面オブジェクト「ORD」について

図面オブジェクト「ORD」のレイヤは、発注者が発注図として注記や旗上げ等を作図するためのものである。命名規則の作図要素は使用せず、ユーザ定義領域を使用し内容を示すものとする。文字は任意の全角文字、半角英数字とする。

【例】

レイヤ名	レイヤに含まれる内容
C-ORD—注記	発注図に記載する注記等の文章、文字
C-ORD—旗上げ	発注図に記載する旗上げ
C-ORD—ハッチ	発注図に記載するハッチング
C-ORD—色塗り	発注図に記載する色塗り

作図要素を使用しないため、- (ハイフン) が 2 個連続する。

上記例のほか、ユーザ定義領域を省略し「C-ORD」も使用可能。



## 付属資料3 図面管理ファイルの DTD

成果品の電子媒体に格納する図面管理ファイルの DTD(DRAW\_M03.DTD)を以下に示す。

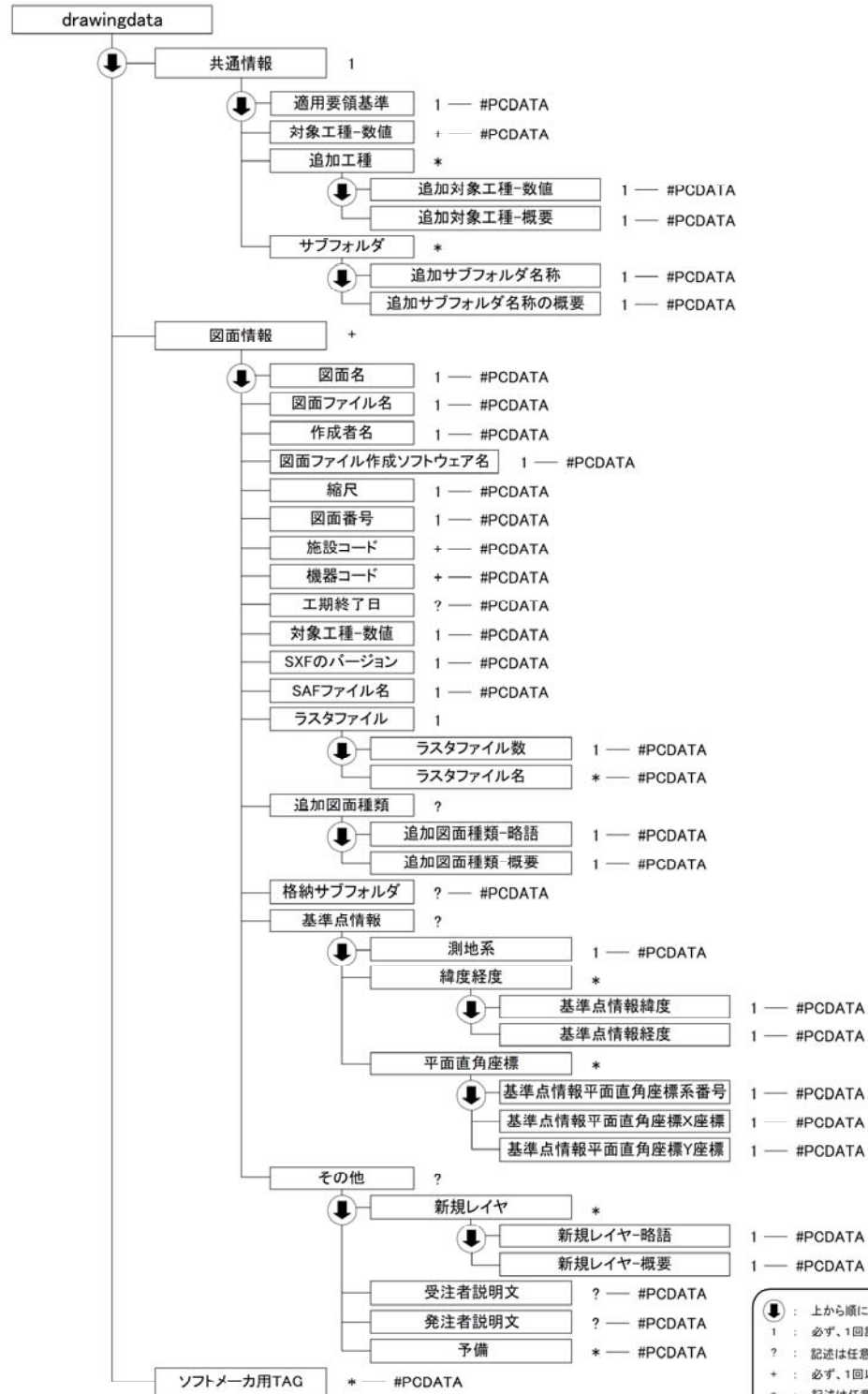
```
<!--DRAW_M03.DTD / 2019/03 -->
<!ELEMENT drawingdata (共通情報, 図面情報+, ソフトメーカー用 TAG*)>
<!ATTLIST drawingdata DTD_version CDATA #FIXED "03">
```

```
<!-- 共通情報 -->
<!ELEMENT 共通情報 (適用要領基準, 対象工種-数値+, 追加工種*, サブフォルダ*)>
<!ELEMENT 適用要領基準 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 対象工種-数値 (#PCDATA)>
<!-- 追加工種 -->
<!ELEMENT 追加工種 (追加対象工種-数値, 追加対象工種-概要)>
<!ELEMENT 追加対象工種-数値 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 追加対象工種-概要 (#PCDATA)>
<!-- サブフォルダ -->
<!ELEMENT サブフォルダ (追加サブフォルダ名称, 追加サブフォルダ名称の概要)>
<!ELEMENT 追加サブフォルダ名称 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 追加サブフォルダ名称の概要 (#PCDATA)>
```

```
<!-- 図面情報 -->
<!ELEMENT 図面情報 (図面名, 図面ファイル名, 作成者名, 図面ファイル作成ソフトウェア名, 縮尺, 図面番号, 施設コード+, 機器コード+, 工期終了日?, 対象工種-数値, SXFのバージョン, SAF ファイル名, ラスタファイル, 追加図面種類?, 格納サブフォルダ?, 基準点情報?, その他?)>
<!ELEMENT 図面名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 図面ファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 作成者名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 図面ファイル作成ソフトウェア名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 縮尺 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 図面番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施設コード (#PCDATA)>
<!ELEMENT 機器コード (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工期終了日 (#PCDATA)>
<!ELEMENT SXFのバージョン (#PCDATA)>
<!ELEMENT SAFファイル名 (#PCDATA)>
<!-- ラスタファイル -->
<!ELEMENT ラスタファイル (ラスタファイル数, ラスタファイル名*)>
<!ELEMENT ラスタファイル数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ラスタファイル名 (#PCDATA)>
<!-- 追加図面種類 -->
<!ELEMENT 追加図面種類 (追加図面種類-略語, 追加図面種類-概要)>
<!ELEMENT 追加図面種類-略語 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 追加図面種類-概要 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 格納サブフォルダ (#PCDATA)>
<!-- 基準点情報 -->
<!ELEMENT 基準点情報 (測地系, 緯度経度*, 平面直角座標*)>
<!ELEMENT 測地系 (#PCDATA)>
```

<!— 緯度経度 —>  
<!ELEMENT 緯度経度 (基準点情報緯度, 基準点情報経度)>  
<!ELEMENT 基準点情報緯度 (#PCDATA)>  
<!ELEMENT 基準点情報経度 (#PCDATA)>  
<!— 平面直角座標 —>  
<!ELEMENT 平面直角座標 (基準点情報平面直角座標系番号, 基準点情報平面直角座標 X 座標, 基準点情報平面直角座標 Y 座標)>  
<!ELEMENT 基準点情報平面直角座標系番号 (#PCDATA)>  
<!ELEMENT 基準点情報平面直角座標 X 座標 (#PCDATA)>  
<!ELEMENT 基準点情報平面直角座標 Y 座標 (#PCDATA)>  
<!— その他 —>  
<!ELEMENT その他 (新規レイヤ\*, 受注者説明文?, 発注者説明文?, 予備\*)>  
<!— 新規レイヤ —>  
<!ELEMENT 新規レイヤ (新規レイヤ-略語, 新規レイヤ-概要)>  
<!ELEMENT 新規レイヤ-略語 (#PCDATA)>  
<!ELEMENT 新規レイヤ-概要 (#PCDATA)>  
  
<!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>  
<!ELEMENT 発注者説明文 (#PCDATA)>  
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>  
  
<!ELEMENT ソフトメーカー用 TAG (#PCDATA)>

# DRAW\_M03.DTD の構造図



- ↓ : 上から順に記述することを示す。
- 1 : 必ず、1回記述する。
- ? : 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
- + : 必ず、1回以上記述する。
- \* : 記述は任意。複数の記述を認める。

## 付属資料4 図面管理ファイルの XML 記入例

成果品の電子媒体に格納する図面管理ファイル(DRAWING.XML)の出力例を以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE drawingdata SYSTEM "DRAW_M03.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="DRAW_M03.XSL"?>
<drawingdata DTD_version="03">

  <共通情報>
    <適用要領基準>農村振興機械201903-01</適用要領基準>
    <対象工種-数値>001</対象工種-数値>
    <対象工種-数値>100</対象工種-数値>
    <追加工種>
      <追加対象工種-数値>100</追加対象工種-数値>
      <追加対象工種-概要>〇〇観測システム</追加対象工種-概要>
    </追加工種>
    <サブフォルダ>
      <追加サブフォルダ名称>SITE01</追加サブフォルダ名称>
      <追加サブフォルダ名称の概要>〇〇A 工区</追加サブフォルダ名称の概要>
    </サブフォルダ>
    <サブフォルダ>
      <追加サブフォルダ名称>SITE02</追加サブフォルダ名称>
      <追加サブフォルダ名称の概要>〇〇B 工区</追加サブフォルダ名称の概要>
    </サブフォルダ>
  </共通情報>

  <図面情報>
    <図面名>平面図</図面名>
    <図面ファイル名>001DOPLZ-平面図.P21</図面ファイル名>
    <作成者名>〇〇建設コンサルタント株式会社</作成者名>
    <図面ファイル作成ソフトウェア名>〇〇CADVer1.0</図面ファイル作成ソフトウェア名>
    <縮尺>1:1000</縮尺>
    <図面番号>1</図面番号>
    <施設コード>0210500511000D001</施設コード>
    <機器コード>DD010101010000</機器コード>
    <工期終了日>2010-03-20</工期終了日>
    <対象工種-数値>001</対象工種-数値>
    <SXFのバージョン>3.0</SXFのバージョン>
    <SAFファイル名>001DOPLZ-平面図.SAF</SAFファイル名>
    <ラスタファイル>
      <ラスタファイル数>3</ラスタファイル数>
      <ラスタファイル名>001DOPL1-平面図.TIF</ラスタファイル名>
      <ラスタファイル名>001DOPL2-平面図.JPG</ラスタファイル名>
      <ラスタファイル名>001DOPL3-平面図.TIF</ラスタファイル名>
    </ラスタファイル>
  </図面情報>
</drawingdata>
```

<追加図面種類>  
   <追加図面種類-略語/>  
   <追加図面種類-概要/>  
 </追加図面種類>  
 <格納サブフォルダ>SITE01</格納サブフォルダ>  
 <基準点情報>  
   <測地系>02</測地系>  
   <緯度経度>  
     <基準点情報緯度>0352250</基準点情報緯度>  
     <基準点情報経度>1384115</基準点情報経度>  
   </緯度経度>  
   <平面直角座標>  
     <基準点情報平面直角座標系番号>06</基準点情報平面直角座標系番号>  
     <基準点情報平面直角座標 X 座標>-8298.682</基準点情報平面直角座標 X 座標>  
     <基準点情報平面直角座標 Y 座標>-34857.294</基準点情報平面直角座標 Y 座標>  
   </平面直角座標>  
 </基準点情報>  
 <その他>  
   <新規レイヤ>  
     <新規レイヤ-略語>D-MCH-XXXX</新規レイヤ-略語>  
     <新規レイヤ-概要>設計図面背景の○○○に関するレイヤ</新規レイヤ-概要>  
   </新規レイヤ>  
   <新規レイヤ>  
     <新規レイヤ-略語>D-MCH-YYYY</新規レイヤ-略語>  
     <新規レイヤ-概要>設計図面主構造物の×××に関するレイヤ</新規レイヤ-概要>  
   </新規レイヤ>  
   <受注者説明文/>  
   <発注者説明文/>  
   <予備/>  
   </その他>  
 </図面情報>  
  
 <図面情報>  
   <図面名>○○システム図</図面名>  
   <図面ファイル名>101D0FLZ-○○システム図.P21</図面ファイル名>  
   <作成者名>○○設計株式会社</作成者名>  
   <図面ファイル作成ソフトウェア名>○○CADVer1.0</図面ファイル作成ソフトウェア名>  
   <縮尺>1:1000</縮尺>  
   <図面番号>101</図面番号>  
   <施設コード>0210500511000D001</施設コード>  
   <機器コード>DD0101080101</機器コード>  
   <工期終了日>2010-03-20</工期終了日>  
   <対象工種-数値>100</対象工種-数値>  
   <SXFのバージョン>3.0</SXFのバージョン>  
   <SAFファイル名> 101D0FLZ-○○システム図.SAF</SAFファイル名>  
   <ラスタファイル>  
     <ラスタファイル数>3</ラスタファイル数>  
     <ラスタファイル名>101D0FL1-○○システム図.TIF</ラスタファイル名>  
     <ラスタファイル名>101D0FL2-○○システム図.JPG</ラスタファイル名>

<ラスタファイル名>101D0FL3-〇〇システム図.TIF</ラスタファイル名>  
</ラスタファイル>  
<追加図面種類>  
    <追加図面種類-略語>FL</追加図面種類-略語>  
    <追加図面種類-概要>〇〇システム図</追加図面種類-概要>  
</追加図面種類>  
<格納サブフォルダ>SITE02</格納サブフォルダ>  
<その他>  
    <受注者説明文>〇〇観測システムに関して、システム図 FL を追加した</受注者説明文>  
    <発注者説明文/>  
    <予備/>  
    </その他>  
</図面情報>  
  
<ソフトメーカー用 TAG/>  
  
</drawingdata>

## 付属資料5 SXF の圧縮について

- 図面ファイル (P21 又は SFC ファイル) と属性ファイル (SAF ファイル) とラスタファイル (TIFF, JPEG) をまとめたものを圧縮ファイルとする。
- 圧縮ファイル形式は ZIP 形式とする。
- パスワードの設定はしない。
- 拡張子は、図面ファイルが P21 の場合は P2Z とし、SFC の場合は SFZ とする。
- 圧縮ファイルには、1つの図面ファイルを含める。
  - ※図面が参照していないファイルは圧縮ファイルに含めない。
  - ※朱書きファイルを圧縮する場合は、図面ファイルと同様に行う。関連する本体図面の圧縮ファイルに含めない。